

# 眼部悪性腫瘍のTNM分類と解説

国立がんセンター病院眼科医長

金子 明博 編著

金原出版株式会社

How to Use  
the TNM CLASSIFICATION of  
OPHTHALMIC  
MALIGNANT TUMOURS

Edited and Written by

Akihiro KANEKO, M. D.

Head, Department of OPHTHALMOLOGY,  
National Cancer Center Hospital

1986

KANEHARA CO., LTD.

# 眼病悪性腫瘍のTNM分類 日本版

## 編著

金子 明博 日本 TNM 委員会眼科実行委員  
国立がんセンター病院眼科医長

## 監修

三島 濟一 日本 TNM 委員会眼科委員  
東京大学医学部眼科学教室 教授

## 協力

麻薩 薫 千葉大学医学部眼科学教室 講師  
雨宮 次生 京都大学医学部眼科学教室 助教授  
井出 醇 井出眼科医院 院長  
猪俣 孟 九州大学医学部眼科学教室 教授  
大島 利文 近畿大学医学部眼科学教室 教授  
大西 克尚 九州大学医学部眼科学教室 助教授  
沖坂 重邦 防衛医科大学校眼科学教室 教授  
加藤桂一郎 福島医科大学眼科学教室 教授  
河野 宗浩 横浜市立大学医学部眼科学教室 助教授  
澤田 惇 宮崎医科大学眼科学教室 教授  
高橋 茂樹 山形大学医学部眼科学教室 教授  
太根 節直 聖マリアンナ医科大学眼科学教室 教授  
田渕 昭雄 川崎医科大学眼科学教室 助教授  
玉井 信 東北大学医学部眼科学教室 教授  
調枝 寛治 広島大学医学部眼科学教室 教授  
中島 章 順天堂大学医学部眼科学教室 教授  
中村 泰久 富山医科薬科大学眼科学教室 教授  
能勢 晴美 筑波大学医学部眼科学教室 講師  
樋渡 正五 防衛医科大学校眼科学教室 前教授  
福田 雅俊 琉球大学医学部眼科学教室 教授  
松田 英彦 北海道大学医学部眼科学教室 教授  
三木 徳彦 大阪市立大学医学部眼科学教室 助教授  
水野 勝義 東北大学医学部眼科学教室 名誉教授

## 刊行にあたって

眼部悪性腫瘍は他の眼科疾患に比較して、発生頻度は高くないが、視機能のみならず生命も失うことになる可能性があるため重要である。その治療法の科学的な選択は、腫瘍の眼部における拡がり、所属リンパ節転移と遠隔転移の有無からなる病期によって決定される。眼部悪性腫瘍の如く発生頻度が低い場合には、多施設間での協同研究が必要となることも多い。このように、患者の体内での悪性腫瘍の進展度（病期）に関する国際的に共通な分類法は的確な治療を行い、診断治療成績の向上のための研究の促進に不可欠である。

このため、Union Internationale Contre le Cancer (UICC) はこれまで25種類の悪性腫瘍についてTNM分類法を作成してきたが、1985年眼部悪性腫瘍のTNM分類法“TNM Classification of Ophthalmic Tumours”を発行した。著者は1980年以来、日本TNM委員会眼科実行委員としてこの作成に関与してきたので、眼部悪性腫瘍のTNM分類に対する理解と普及を促す責務があるため、多くの方々のご協力を得て、日本語訳を完成した。国際的な発表に際しての必要性も考慮して原文も収録してある。

今後は学会発表に際し、症例の病期をTNMを使用して記述する必要があると思われるので、写真によって供覧した症例のTNM分類を参考にして、症例の治療開始前や病理検査後にTNMによる病期を記載しておくことが望ましい。本書により、我が国における眼部悪性腫瘍の治療成績の向上と有用な科学的研究の発展に多少とも役立つなら著者の意図は十二分に達成されている。

本書の製作について多大なご協力をいただいた、日本眼部悪性腫瘍TNM委員の皆様、東大眼科三島済一教授、岡山大眼科松尾信彦教授、常滑市民病院眼科小林久生医長、国立がんセンター病院皮膚科石原和之医長、同早坂健一医員、同外科丸山圭一医長、同山本浩医長、同研究所猪俣素子主任研究官、同中島孝第3病理室長、同運営部西崎悦司写真係長に深謝する。

1986年8月18日

国立がんセンター病院眼科医長  
金子 明博

# 目 次

---

## まえがき

TNM 分類法の歴史 .....	1
眼部悪性腫瘍 TNM 分類の誕生まで .....	4

## 総 論

TNM 分類法の原理 .....	9
TNM 分類法の総則 .....	10
解剖学的領域と部位 .....	12
補足的記述法 .....	15
眼部悪性腫瘍 TNM 分類 .....	19
眼瞼(癌).....	21
眼瞼(悪性黒色腫).....	25
結膜(癌).....	29
結膜(悪性黒色腫).....	33
ぶどう膜(悪性黒色腫) .....	37
網膜 .....	45
眼窩肉腫 .....	49
涙腺 .....	53
TNM Classification of Ophthalmic Tumours .....	57
解 説 .....	107

## ま え が き

### TNM 分類法の歴史

悪性腫瘍を分類するための TNM 分類法は 1943 年から 1952 年にかけて Pierre Denoix (フランス) によって開発された<sup>1)</sup>。

1950 年, UICC は, 腫瘍の命名と統計委員会\*<sup>1</sup> を発足させ, 腫瘍の臨床病期分類の作成にあたっては, 「WHO の小委員会」\*<sup>2</sup> が提案した, 悪性腫瘍の局所進展に関する総則をその基本として採用することにした<sup>2)</sup>。

1953 年, 同委員会は, 「国際放射線学会」\*<sup>3</sup> が任命した「がんの病期分類とがん治療結果の表示に関する国際委員会」\*<sup>4</sup> との合同会議を開催した。そのとき, 分類の原則として, 疾患の解剖学的な拡がりによる方法, すなわち, TNM 分類法を採用することが合意された。

1954 年, UICC の「研究委員会」\*<sup>5</sup> は, さらに検討を進め, この分類法をすべての領域のがんに広げるために, 臨床病期分類と応用統計学に関する委員会\*<sup>6</sup> を設立した。1958 年, この委員会は乳腺と喉頭の臨床分類と結果の表示法とについて, 最初の提案を出版した<sup>3)</sup>。翌 1959 年には, 乳腺に

\* 1 Committee on Tumor Nomenclature and Statistics

\* 2 WHO Sub-Committee on the Registration of Cases of Cancer as well as their Statistical Presentation

\* 3 International Congress of Radiology

\* 4 International Commission on Clinical Stage-Grouping in Cancer and Presentation of the Results of Treatment of Cancer

\* 5 Research Commission

\* 6 Committee on Clinical Stage Classification and Applied Statistics

1) Denoix, P. F.: Bull. Int. Nat. Hyg. (Paris) 1: 69, 1944 and 52: 82, 1944~45.

2) WHO Technical Report Series, Number 53, July 1952, pages 47~48.

3) International Union Against Cancer (UICC) Committee on Clinical Stage Classification and Applied Statistics: Clinical Stage Classification and Presentation of Results, Malignant Tumours of the Breast and Larynx, Paris, 1958.

関する改定案が示され<sup>4)</sup>、1960～1964年の5年間、臨床的に試行して、その評価をしようということになった。

1960年から1967年の間に、委員会は、23部位の分類の提案を掲載した9冊の小冊子を出版し、これら各部位の分類案を prospective または retrospective に5年間検討することを要望した。

1968年、9冊の小冊子は、TNM小冊子 (Livre de Poche) として1冊にまとめられた。さらに1年後、実地試行のやりかた、最終成績の表示方法、および、がんの生存率の判定と表示法について、細かい施行細則を記した補遺版を出版した。この Livre de Poche はその後、11ヵ国語に翻訳されている。

1974年、第2版が出版されたが、その中では、幾つかの新しい臓器の分類が追加され、また、以前に出版された分類が改定されている。このようにして TNM 分類法にたいして関心を持つ各国の国内委員会や、国際機関が増えてきたが、本書では、それらを次の略号で示してある。

- AJC ー米国がん病期分類合同委員会 [The American Joint Committee for Cancer Staging and End Results Reporting].
- CNC ーカナダ TNM 委員会 [The Canadian National TNM Committee].
- DSK ードイツ語圏 TNM 委員会 [Deutschsprachiger TNM-Ausschuss (Komittee)].
- EORTC ー欧州がん治療研究機構 [The European Organization for Research on Treatment of Cancer].
- FIGO ー国際産婦人科連合 [Fédération Internationale de Gynécologie et d'Obstetrique].
- ICPR ー国際放射線学会・がん病期分類および成績表示に関する国際委員会 [The International Commission on Stage Grouping in Cancer and the Presentation of Results of the International

4) International Union Against Cancer (UICC), Committee on Clinical Stage Classification and Applied Statistics: Clinical Stage Classification and Presentation of Results, Malignant Tumours of the Breast, Paris, 1959.

Society of Radiology}.

JJC ー日本 TNM 分類委員会〔The Japanese Joint Committee on TNM Classification〕.

SIOP ー国際小児腫瘍学会〔La Société Internationale d'Oncologie Pédiatrique〕.

本書に記載された 28 “部位” の分類は、いずれも、それぞれの臓器分類のタイトルの下に記された各機関によって承認されたものである。「米国がん病期分類合同委員会」(AJC) は、彼等が出版した **Manual for Staging of Cancer** (1977) に示された内容と大きな矛盾がない限り、原則として、全般的に合意したことになっている。

「分類法は、一度決められたならば、余程の理由がない限り変更すべきでない」という意見を持つ臨床家が多いことを UICC は承知している。したがって、本書に示す分類は、特定の部位の診断あるいは治療上に大きな進歩が起こって、この分類法が非現実的なものになってしまうようなことがない限り、少なくとも、向う 10 年間は変更しない。

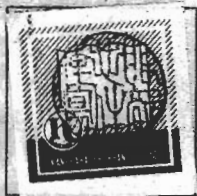
すべての人に納得がいくような分類法を開発し、維持するには、あらゆる国内および国際委員会による緊密な連絡が必要である。そのようにして、はじめて、全世界の腫瘍学者が、“共通の言葉”を使って、臨床材料や治療成績を比較・評価することができるようになる。

UICC が今後とも引きつづき目差しているのは、病変の解剖学的拡がりに基づいた、この TNM 分類が、広く受け入れられ普及を見ることである。(TNM 悪性腫瘍の分類日本版より)



眼窩悪性腫瘍のTNM分類と解説 定価 2,800円 送料250円

昭和61年11月20日 第1刷発行 ©



編著者 金子明博  
発行者 金原秀雄  
発行所 金原出版株式会社

〒113 東京都文京区湯島2-31-14  
振替 東京 2-151494 番  
電話 (03) 811-7161 (代表)  
支社：大阪市西区江戸堀 1-23-33  
京都市上京区河原町通丸太町上

Printed in Japan

図書印刷株式会社

小社は横印または貼付紙をもって定価を変更はいたしません。  
乱丁、落丁のものは小社またはお買上げ書店にてお取り替えいたします。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著者および出版社の権利の侵害となりますので、その場合には予め小社あて許諾を求めて下さい。

ISBN 4-307-35043-X